

森林の中に突如現れる砂丘

## ②4 ウトナイ沼南東部砂丘

所在地：苫小牧市字植苗



写真の解説  
■ 砂丘の様子

この地域は、ウトナイ湖の勇払川流出口の東部に分布する砂丘で、このあたりまでが海だったと言われている約 6,000 年前（縄文時代）から、現在に至るまでの自然の歴史を知るうえで重要な地域です。

コナラ、カシワなどの高木や、クロミノウグイスカグラ（ハスカップ）などの低木が生育し、ところどころにハナゴケ類（地衣類）が群生し、また、ハマナスなどの海浜植生やウラジロオタデなどの高山植生が混在する珍しい景観が広がっています。

勇払原野の形成の歴史を物語る学術的にも貴重な地域のため、面積 64.5 ヘクタールを平成 2（1990）6 月 15 日に苫小牧市の自然環境保全地区として指定されています。

住宅地に残された植生豊かな樹林

## ②5 沼ノ端拓勇樹林

所在地：苫小牧市拓勇西町 5 丁目 4 番・6 丁目 7 番



写真の解説  
■ 樹林の様子

ウトナイ湖南西の新興住宅地に位置するこの樹林は、昭和初期以来、酪農を中心とした開拓地の防風林の一部で、ミズナラ、ハンノキなどの高木をはじめ、ノリツギ、ベニバナヒヨウタンボクなどの低木が見られ、市街地近郊にあるにもかかわらず、昔のままの状態が残っています。もともと一帯が広範な樹林帯でしたが、住宅開発で伐採され、現在の広さまで縮小しました。森林性に富んだ良好な樹林地であり、その存在が貴重な地域で、面積 3.2 ヘクタールを平成 7 年（1995）2 月 21 日に苫小牧市の自然環境保全地区として指定されています。

※ 防風林（ぼうふうりん）  
暴風などの強い風から農業や集落を守るために育成された森林



### 静川遺跡へのアクセス

所在地：苫小牧市字静川 93 番地 7～11  
苫小牧市街地から車で約 40 分の場所

- ① 国道 235 号線沿いに案内看板が立っています  
日高自動車道の下を通り抜けます。約 2 km 先に静川遺跡があります
- ② 通り抜けたあと、一方通行のため左側に曲がり道なりに進みます
- ③ 一つ目の T 字路は、直進します
- ④ 二つ目の T 字路を右折します。右折し、約 900m 先に静川遺跡があります
- ⑤ 静川遺跡に到着  
看板標の遊歩道から遺跡上に登ることができます。※遺構は保存のため埋められており、現在はみることができません。
- ⑥ 十字路は一時停止し直進します
- ⑦ 帰りは十字路を一時停止し、左折します。あとは道なりに進むと①にできます